

きもの好き50人の
ベストワードローブ

褒められ、愛され

キメきもの

この一枚を纏ったら必ず褒められる！

単に華やかな勝負きものとも異なり、

そこはかとなない気品とひと匙の個性で

「私らしさ」を引き出し、どんなシーンでも

誰からも憧れの眼差しを注がれる……。

そんな活躍度と好感度の高い自慢の逸品を

和美人50人に総力取材しました。

素敵な女性のベストバイと着こなしを知ること

新たなきものお洒落の扉を開いてください。

撮影／西山航、伏見早織（本誌・静物） 着付け／高橋恵子（静物）
構成・取材・文／両角明美、権澤貴子、有田絵里奈、佐藤千寿香（本誌）

022



中野あおいさん
（美容皮膚科医）

大人にこそ似合う パールピンクの 訪問着

美容クリニックの院長として、ハレの席に招かれることの多い中野さんが、「最高のドレス」と頼りにするのは、故・皆川月華作、手描き友禅の緞の訪問着。美しく咲き誇る無数の蘭が金糸刺繍とともに上前や肩にたつぷりと描かれており、立ち姿が見事なのはもちろん着席のパーティにも映える芸術的な一枚です。

「祖母と母が眺えてくれて、25年以上愛用しています。落ち着いたピンクなので、年齢を重ねても難なく着こなせます」

キメきもの